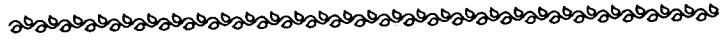


付 表



189. 岩槻市主要年表	211
190. 市内主要官公署及び施設	218

189. 岩槻市主要年表

西 暦	年 号	事 項
1200	正 治 2	源広綱の孫資国は、丹波国太田庄に住し、太田氏を称す。
1243	寛 元 元	笹久保の善念寺に、この紀年銘の阿弥陀一尊板碑がある。
1333	元 弘 3	後醍醐天皇は、綸旨を下し法華寺の寺領を安堵する。
1335	建 武 2	足利尊氏は、武蔵国太田・渋江両郷に関し、国宣を下す。
1361	正 平 16	市場の祭文が作られる。
1375	天 授 元	石室善玖は、渋江郷金重村に平林寺を開く。
1455	康 正 元	太田資清は、家督を資長（道灌）に譲る。
1457	長 祿 元	上杉持朝が川越城を築き、持朝の将太田備中守資長が岩付城を築く。
1530	享 祿 3	太田資頼（道灌の孫）は城代渋江三郎を破って、岩付城を回復する。
1538	天 文 7	北条氏綱は葛西城を攻略する。ついで太田資正を岩付城に攻め帰陣する。
1560	永 祿 3	勝田佐渡守は、北条氏房に市を願い出て免許を与えられる。
1564	永 祿 7	北条軍の岩付攻めを太田勢が加倉・宮の下にて迎えうつ、加倉戦が行われた。
1570	永 祿 13	北条氏政は、石工左衛門五郎を武蔵に遣わし、岩付城等の修築の石を採石させる。
1577	天 正 5	北条氏政は、岩付城諸奉行詰番の掟書を出し、小旗奉行・鍵奉行・鉄砲奉行等を任命。潮田内匠助等が奉行となる。
1590	天 正 18	豊臣方の浅野長吉、木村秀直の軍が、岩付城を攻略する。
1614	慶 長 19	元荒川筋に末田溜井・瓦曾根溜井が開発される。
1617	元 和 3	4月12日、関東は、連日暴風となり栗橋の渡が流失し、日光社参中の將軍徳川秀忠は、13日まで岩槻城に滞留する。
1633	寛 永 10	慈恩寺が焼失したため、川越喜多院は本尊千手観音像を寄進する。
1663	寛 文 3	松平輝綱は、平林寺を新座郡野火留に移す。
1680	延 宝 8	綾瀬川河岸場筋の用水堰が一切禁止されて、船の便がよくなり、馬込河岸場が出来る。 小菅村から隅田村までの新綾瀬川の開通により、綾瀬川は排水河川となる。
1681	天 和 元	この頃から綾瀬川の藻刈りが始まる。
1693	元 祿 6	岩槻城三の丸の屋形の地祭が行われる。
1700	元 祿 13	元荒川の藻刈りがはじまる。

西 暦	年 号	事 項
1709	宝 永 6	市宿町に火災あり。
1741	寛 保 元	足立、埼玉二郡にわたる東武蔵薬師霊場百二十ヶ所が組織される。
1766	明 和 3	助郷人馬制が布かれる。岩槻宿助郷村は、飯塚村・真福寺村・下新井村・柏崎村・浮谷村・横根村・笹久保新田村・笹久保村・黒谷村である。
1774	安 永 3	岩槻宿の戸数816軒・人数3666人（男1911人・女1755人）である。
1776	安 永 5	各町の大きさは、市宿長さ五丁十二間・久保宿町長さ五丁三十間・澁江町長さ四丁九間・田中町長さ二丁十二間であった。
1786	天 明 6	五月頃より雨が多く、関東で大洪水、利根川の堤防を押切り、栗橋・岩槻・草加等に被害多く、江戸における寛保2年の大水を上回る惨状を呈す。
1787	天 明 7	岩槻宿で米価騰貴による打ちこわしが起こる。児玉南柯が致仕する。
1788	天 明 8	児玉南柯は謹慎を解かれる。
1799	寛 政 11	岩槻城主大岡忠正の援助で岩槻城下裏小路の一角に遷喬館を開く。
1804	文 化 元	岩槻藩儒臣児玉南柯が「漂客記事」を著わす。
1828	文 政 11	慈恩寺本堂が焼失する。
1830	文 政 13	岩槻藩校（遷喬館）教授児玉南柯が卒す。
1836	天 保 7	岩槻宿で米価騰貴による打ちこわしが起こる。
1847	弘 化 4	この年の岩槻宿の家数は818軒・人数3586人（男1826人・女1760人）であった。
1856	安 政 3	大風にて黒谷村では居宅など34～5軒こわれる。
1858	安 政 5	八月上旬から江戸で疫病が流行し、黒谷村で、大般若祈祷を行う。
1859	安 政 6	大風雨にて備前堤が切れ綾瀬川一円に出水する。
1862	文 久 2	東海道筋より疫病が流行し、江戸中に広まり黒谷村付近にも流行し、大般若祈祷を行う。
1868	明 治 元	明治と改元される。
1869	明 治 2	武蔵知県事が廃止される。 大宮県が設置される。
1870	明 治 3	岩槻藩庁の掌政・民政街官・会計・軍務・営繕・典学の六部局が置かれる
1871	明 治 4	区制が実施され、岩槻は5区・20区に編入される。

西 暦	年 号	事 項
1871	明 治 4	<p>忍県・岩槻県・浦和県を廃止、武蔵国埼玉郡及び葛飾・足立二郡を以て埼玉県を設置する。</p> <p>岩槻県の廃止により、遷喬館は廃校となる。</p> <p>県庁の位置を岩槻町と定めたが、同所は施政に不便で適当な庁舎がなかったため仮に旧浦和県庁舎を利用すべく大蔵省の認可を受ける。</p> <p>岩槻城が廃毀される。</p>
1872	明 治 5	<p>岩槻の郷学校が開設される。</p>
1873	明 治 6	<p>宝国寺に鹿室学校を設置する。生徒男67人、女3人、教員3人である。</p> <p>尾ヶ崎新田に公立小学校（尾ヶ崎学校）を設置し、正福寺を使用する。生徒男97人、女9人である。</p> <p>岩槻郷学校は、市宿の芳林寺に移転し、岩槻学校と改称される。生徒男122人、女54人、教員は男3人、女2人である。</p> <p>川通村の寺院に大戸学校を設置する。生徒男55人、女3人、教員2人である。</p> <p>高曽根村に、公立小学校（高曽根学校）を設置する。生徒男101人、女13人、教員男2人、女1人である。</p> <p>柏崎村に、公立小学校（柏崎学校）を設置し、洞照院を仮用する。生徒男71人、女9人、教員男2人、女1人である。</p> <p>郵便・電信電話局舎が建築される。</p> <p>岩槻町辻村の土橋が板橋に改築される。</p> <p>埼玉県岩槻町九町の小名（市宿町・久保宿町・新町・富士宿町・林道町・田中町・横町・新曲輪町・渋江町）を廃止、岩槻町と総称する。</p> <p>岩槻町久保宿178番より出火、29軒延焼する。</p>
1874	明 治 7	<p>岩槻町で第20区警察附属屯所が新築される。</p>
1875	明 治 8	<p>第20区埼玉郡岩槻市宿町・久保宿町・新町・林道町・富士宿町・横町・田中町・新曲輪町・渋江町・春山新田・斎藤新田を合併し、岩槻町とする。</p> <p>第5区黒沼九人組新田を鹿室に、藤内新田を相野原村に、黒沼藤助新田を裏慈恩寺村に合併する。</p>
1876	明 治 9	<p>綾瀬川の新河岸場できる。</p>

西 暦	年 号	事 項
1889	明 治 22	<p>大口・南平野・長宮・大野島・増長・大谷・大戸・新方須賀・大森の九村が合併し、川通村となる。</p> <p>掛・金重・本宿・箕輪・平林寺・馬込・川島村が合併し、河合村となる。</p> <p>表慈恩寺・慈恩寺・裏慈恩寺・鹿室・相野原・古ヶ場・上野・南辻・小溝・徳力村が合併し、慈恩寺村となる。</p> <p>尾ヶ崎新田・尾ヶ崎・釣上・釣上新田・野島方・孫十郎・高曾根・末田村が合併し、新和村となる。</p> <p>飯塚・笹久保・黒谷・笹久保新田・木曾良・村国・南下新井が合併し、和土村となる。</p> <p>柏崎・横根・谷下・浮谷・真福寺が合併し、柏崎となる。</p> <p>岩槻・太田両町が合併し、岩槻町となる。</p>
1891	明 治 24	大宮・岩槻間に乗合馬車が開通する。
1892	明 治 25	岩槻町の人口は5952人（男2947人・女3005人）戸数1075戸である。
1893	明 治 26	岩槻町の人口は5930人（男2940人・女2998人）1080戸である。
1909	明 治 42	岩槻町の東武紡績合資会社でストライキ騒動が起こる。
1910	明 治 43	岩槻町有楽座が新築落成される。
1911	明 治 44	岩槻電気軌道（株）が設立する。
1912	明 治 45	御林山南端より出火、山火事となる。
1918	大 正 7	河合村に大雷雨の被害がある。
1920	大 正 9	岩槻・幸手線、岩槻・野田線等が県道に認可される。
1921	大 正 10	大宮・岩槻間乗合バスが開通する。
1924	大 正 13	武州鉄道岩槻・蓮田間の開通式が挙行される。
1925	大 正 14	武州鉄道岩槻北口駅が開設される。
1926	大 正 15	岩槻人形界は不景気になる。
1927	昭 和 2	日米両国は人形を交換し岩槻小学校で、人形交換会が開催される。岩槻人形が初めてアメリカへ渡る。岩槻に輸出人形研究会が発足する。
1928	昭 和 3	武州鉄道岩槻・武州大門間が延長開業する。
1929	昭 和 4	北総鉄道（現在の東武野田線）の大宮仮停留所粕壁間が開通し、岩槻駅が営業開始する。

西 暦	年 号	事 項
1931	昭 和 6	9月埼玉県を中心に地震が発生し、岩槻では民家十二軒が全半壊する。
1939	昭 和 14	6月武州鉄道の廃止に伴い、総武鉄道岩槻町駅が岩槻駅と改称される。
1943	昭 和 18	2月新和村大字地区並びに大字名のうち野島方・孫十郎が野孫に変更される。
1944	昭 和 19	3月総武鉄道大宮・船橋間が東武鉄道に合併され、東武野田線となる。
1945	昭 和 20	4月総武鉄道澁江駅、加倉駅は営業を休止する。
1949	昭 和 24	4月岩槻・和土・柏崎中学校を廃止し、岩槻町他二村組合立岩槻中学校改称する。
1954	昭 和 29	<p>県町村合併促進審議会で、岩槻町・河合村・和土村・慈恩寺村・柏崎村・川通村・新和村の合併が計画される。</p> <p>7月1日岩槻町は市制を施行する。初代市長平野廣が就任する。尾島清・利根川清が助役、坂爪海要が収入役、斎藤定吉が議長、伊藤満寿巳が副議長に就任する。</p> <p>岩槻・新和・慈恩寺の三か所に診療所を新設し、新和・慈恩寺地区の無医村が解消される。</p>
1955	昭 和 30	<p>世帯数は6119、人口は35141人、男17316人、女17825人である。</p> <p>市制施行一周年記念祝賀会式典が開かれる。</p>
1957	昭 和 32	<p>岩槻市は782,800円を投じて史跡遷喬館の復元に着手し、同年三月に完成する。</p> <p>太田道灌岩槻築城五百年、市制施行三周年、遷喬館復元の合同記念祭が開かれる。</p>
1960	昭 和 35	<p>岩槻市立新和中学校を城南中学校と改称する。</p> <p>上水道工事くわ入れ式が行われる。</p> <p>お林公園（岩槻公園）総合グラウンド兼野球場建設の起工式が行われる。</p>
1961	昭 和 36	水道給水条例を可決、家庭用基本料金1㎡あたり310円となる。
1962	昭 和 37	岩槻公園に菖蒲池が完成する。
1963	昭 和 38	県立青年の家が岩槻公園内に完成する。
1964	昭 和 39	皇太子・美智子妃が来訪し、岩槻人形の製作工程を視察される。

西 暦	年 号	事 項
1966	昭 和 41	市営球場が完成する。 台風4号が直撃し、雨量294ミリを記録し、市内名所で冠水・浸水の被害を受ける。 岩槻市における字の変更並びに町の設置が告示される。 学級給食センターの工事が着工される。
1967	昭 和 42	東北縦貫道路の県内通過路線と岩槻インターチェンジの設置を発表する。
1969	昭 和 44	総人口が5万人を超える。 地下鉄7号線誘致成同盟会が発足する。 東岩槻駅が開業する。
1970	昭 和 45	市役所本庁舎新築のため、消防署前の仮庁舎に移転する。 旧岩槻城の城門が市役所庁舎新築に伴い岩槻公園内に移築される。
1971	昭 和 46	浄国寺日鑑77冊が埼玉県指定有形文化財となる。 岩槻市役所新庁舎が完成する。 中央図書館が開館する。
1972	昭 和 47	総人口が7万人を超える。 東北自動車道の岩槻・宇都宮間が開通する。
1975	昭 和 50	移動図書館「こだま号」が巡回を開始する。
1976	昭 和 51	第1回人形の町岩槻まつりが開催される。
1977	昭 和 52	市民公募で市の木「つき」、市の花「やまぶき」を選定する。
1978	昭 和 53	福祉会館で市制25周年記念式典が行われる。
1979	昭 和 54	岩槻公園野球場にナイター設備が完成する。
1980	昭 和 55	東北自動車道浦和・岩槻間が開通する。 県立民俗文化センターが開所する。
1981	昭 和 56	福祉法制定30周年記念大会を開催する。
1982	昭 和 57	千葉県千倉町と友好都市の調印をする。 児童センターが開館する。山吹作業所が開所する。
1983	昭 和 58	西ドイツスポーツ少年団が岩槻市を親善訪問する。 県立小児医療センターが開所する。

西 暦	年 号	事 項
1984	昭 和 59	事務処理がオンライン化する。
1985	昭 和 60	岩槻市行政改革大綱を策定する。 環境センターの建設が着工される。
1986	昭 和 61	コミュニティーセンターいわつきが開館する。 岩槻市第2次総合振興計画基本構想が決定する。
1987	昭 和 62	消防北分署が開署する。 江川・南平野の両地区に土地区画整理連絡協議会が発足する。 南部公民館が開館する。 生涯学習センターが開所する。
1988	昭 和 63	老人福祉センター「槻寿苑」が開所する。
1989	平 成 元	中央公民館が開館する。 市民温水プールが開館する。
1990	平 成 2	通所更生施設「太陽の家」が開所する。
1991	平 成 3	市民温水プール利用者10万人を超える。 北部公民館が開館する。 生涯スポーツ都市宣言をする。
1992	平 成 4	城北大橋が開通する。 新永代橋が開通する。
1993	平 成 5	槻の森スポーツセンターの利用者が100万人を超える。 消防署南分署が開署する。
1994	平 成 6	岩槻駅東口再開発事業の工事が着工される。 市制施行40周年を迎える。 目白大学が開学する。
1995	平 成 7	平和都市宣言をする。 東武鉄道岩槻駅・春日部駅間の複線化が決定する。
1996	平 成 8	岩槻駅東口コミュニティーセンターが開館する。 カナダの・ナナイモ市(ブリティッシュコロンビア州)と国際友好都市 の提携をする。
1997	平 成 9	精神簿弱者更生施設「槻の木」が開所する。
1998	平 成 10	ふれあいプラザが開館する。

190. 市内主要官公署及び施設

市役所・出先機関等			
市役所		本町六丁目1-1	(757) 4111
市民課東岩槻サービスコーナー		東岩槻六丁目6	(757) 3531
市民課和土サービスコーナー		笹久保1348-1	(798) 7620
岩槻駅東口市民サービスコーナー		本町三丁目1-1	(758) 2900
川通市民サービスコーナー		大口225	(792) 1013
慈恩寺市民サービスコーナー		慈恩寺904-1	(795) 1881
河合市民サービスコーナー		平林寺423-5	(790) 1388
江川土地区画整理事務所		南辻124-3	(756) 8780
南平野土地区画整理事務所		南平野460	(756) 8781
岩槻駅西口土地区画整理事務所		西町一丁目1-1	(756) 8188
教育・文化・福祉施設等			
中央公民館		本丸三丁目17-1	(758) 3100
岩槻公民館		本町四丁目2-25	(757) 6043
南部公民館		笹久保1348-1	(798) 7620
北部公民館		慈恩寺904-1	(795) 1881
コミュニティーセンターいわつき		本町一丁目10-7	(758) 1980
岩槻駅東口コミュニティーセンター		本町三丁目1-1	(758) 6500
中央図書館		本町四丁目2-25	(757) 2523
岩槻駅東口図書館		本町三丁目1-1	(748) 3200
郷土資料館		本町二丁目2-34	(757) 0271
生涯学習センター		太田三丁目4-1	(756) 7855
学校給食センター		平林寺373-2	(757) 5359
県立民俗文化センター		加倉五丁目12-1	(757) 8008
保健センター		府内一丁目8-1	(798) 2211
児童センター		本町一丁目11-11	(757) 4545
老人福祉センター 槻寿苑		笹久保1393	(798) 8088
福祉会館「城址公園イグレッタ」		太田三丁目1-1	(756) 5151
槻の森スポーツセンター		村国229	(798) 8411
市民温水プール		本丸三丁目17-2	(758) 2301
授産施設 山吹作業所		古ヶ場二丁目1-11	(794) 5005
精神薄弱者更生施設 槻の木		黒谷1135-2	(797) 0850
岩槻市社会福祉協議会		本町六丁目5-10	(757) 9291
シルバークリニック		仲町一丁目14-54	(756) 7790
西南保育所		西町二丁目2-18	(756) 4632
南保育所		本町二丁目5-5	(756) 7565
東保育所		諏訪二丁目5-1	(794) 1620
美幸保育所		美幸町3-18	(757) 8450
学童保育所		諏訪三丁目6-9	(794) 6151
警察・消防・衛生関係施設			
岩槻警察署		岩槻5106	(757) 0110
消防本部		城南一丁目2-3	(797) 0119
中央消防分署		太田一丁目2-11	(757) 2727
北消防分署		上野四丁目6-21	(794) 4816
南消防分署		笹久保1328	(798) 3802

環加金南小	境倉重	セ	ン	夕	一	笹久保1339	(798) 7500
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	下新	浄	浄	水	場	加倉1065	(756) 0567
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	学	井	井	水	場	金重52-18	(756) 4865
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	・	中	学	場	南下新井907-8	(798) 2637
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	槻	小	学	校	本町五丁目6-45	(756) 3341
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	田	小	学	校	仲町一丁目17-3	(756) 0515
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	通	小	学	校	大野島422-1	(799) 1060
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	崎	小	学	校	柏崎762	(798) 3831
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	土	小	学	校	黒谷1353	(798) 0208
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	和	小	学	校	尾ヶ崎1252	(798) 0003
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	寺	小	学	校	慈恩寺259	(794) 1140
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	合	小	学	校	平林寺351	(756) 2243
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	槻	小	学	校	諏訪二丁目6-1	(794) 1584
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	北	小	学	校	岩槻6619	(757) 5391
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	力	小	学	校	徳力136-4	(794) 2318
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	里	小	学	校	上里2-2	(794) 2316
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	原	小	学	校	岩槻3862	(757) 2271
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	南	小	学	校	南下新井1191-1	(798) 4811
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	槻	中	学	校	仲町一丁目14-35	(756) 0254
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	通	中	学	校	長宮435	(799) 1061
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	南	中	学	校	笹久保577	(798) 0007
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	寺	中	学	校	裏慈恩寺505	(794) 1141
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	北	中	学	校	本宿392-1	(757) 1582
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	山	中	学	校	表慈恩寺684-1	(794) 4061
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	陽	中	学	校	真福寺454	(798) 6655
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	原	中	学	校	岩槻3750	(756) 1117
岩太川柏和新慈河東城徳上西城岩川城慈城桜柏西私	校	智	中	学	校	徳力186	(795) 0777
高校・大学	開						
県立岩槻商業高等学校	立	商	業	高	等	太田一丁目4-1	(756) 0100
県立岩槻北陵高等学校	立	北	陵	高	等	城南一丁目3-38	(798) 7171
私立埼玉第一高等学校	立	玉	第	一	高	慈恩寺117-2	(794) 6060
私立岩槻養護学校	立	目	白	大	学	徳力186	(794) 4321
県立養護施設いわつき	立	施	設	い	わ	浮谷334-3	(797) 2111
	開					馬込2426	(757) 5501
						徳力206	(794) 4531
その他の機関							
高年齢者職業相談室						仲町一丁目14-54	(758) 0150
婦人就業相談室						仲町一丁目14-54	(758) 0150
岩槻市商工会						本町五丁目6-44	(756) 1445
中川水系農業水利事務所						本町二丁目8-12	(756) 1147
南部河川改修事務所						本町二丁目8-12	(757) 2201
法務局岩槻出張所						東岩槻四丁目3-3	(756) 0458
県立小児医療センター						馬込2100	(758) 1811
埼玉食糧事務所岩槻支所						本町一丁目8-21	(757) 8700